



10月14日

炎に突進、火の粉が襲うケベス祭り

国見町櫛来の岩倉社で「ケベス祭り」(国選択無形民俗文化財)が行われました。午後7時半を迎えた頃、奇妙な面を着け御神火に飛び込もうとするケベスを、火を守るトウバの男たちが阻止しようと格闘が始まると、会場は緊張と興奮に包まれました。祭りのクライマックスでは、トウバたちが燃え盛るシダの束を持って駆け回ると、逃げ惑う観客の悲鳴が境内に響き渡りました。

なお、今年のケベス役には、国見町櫛来(須川)出身の梶原圭介さん(20)が選ばれ、大役を無事に務めました。



ま
す
の

10月26日

舞台上輝く 国東の名役者たち 第12回くにさき演劇祭

第12回くにさき演劇祭がアストくにさきのアストホールで開催され、市内の2団体が公演しました。国見歌舞伎保存会は「神霊 矢口渡しんれい やぐちのわたり とんべえ すみか だん〜頓兵衛住家の段」を熱演。英ちゃん劇団は「人間・三浦梅園」と題して、三浦梅園の人物像を演じました。幼少時のシーンでは、国東小学校の児童や旭日幼稚園の園児が出演。安岐中央小学校の児童は「梅園先生をたたえる歌」を合唱しました。



▲頓兵衛が娘・お舟に襲いかかる(国見歌舞伎)

なお、結成20周年を迎えた国見歌舞伎保存会は、11月17日(日)午後1時から、国見生涯学習センター-みんななかんで記念公演を開催予定。特別ゲストとして市長・議長・教育長らによる「白波五人男」も出演します。



▲安岐町富永の地で生涯を送ることを決心する梅園(英ちゃん劇団)